

[24_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470196>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 24 (4), 1991-07-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

お 知 ら せ

DSPPINTからAPSへの移行について

従来、センターのホストと接続されているOPR (Office Printer) にデータセットの内容等を印刷するにはDSPRINTコマンドで行っていましたが、5月13日(月)からDSPRINT機能を廃止してAPS (Advanced Printing Subsystem)に移行します。この移行は、APSでしか出力できないメーカーの新ソフトが提供されていること、及びAPSがDSPRINTと同等以上の機能を持つことによります。DSPRINT関連のコマンドに対応するAPSのコマンドは下記の通りです。なお、これに伴いDSPRINT関連のコマンドは廃止しますので、私用コマンドプロシジャ等で指定されている場合はご注意ください。

1. DSPRINTとAPSのコマンド対応

	DSPRINT	APS
データセットの内容出力	DSPRINT	PRTFILE
編集集中テキストの出力	DSPRINT	OPR
ジョブ結果の出力	HARDP	PRTJOB
OPRの状態表示 及び、出力の取消し	DSPOPER	PRTOPER
OPRの再起動	PRTCHK	PRTCHK
関連コマンド一覧		PRTHELP

2. コマンドの説明

1) データセットの内容出力

機 能： データセットの内容をOPRに出力する。

コマンド名	オ ペ ラ ン ド
PRTFILE	{File (ファイル名) Ddname (DD名) } Terminal (プリンタ名) [SHeetsize (A4 A5 B4 B5)] [P Rintmode (Port L And L P)] [Line (n : m)] [COPIes (複写枚数)]

オペランドの説明

- File : 出力の対象となるデータセット名を指定する。
 - Ddname : 出力の対象となるデータセット名が割当てられているDD名を指定する。
 - Terminal : OPRのプリンタ名を指定する。
 - S Heetsize : 指定したOPRで出力できる用紙サイズを指定する。省略値はA4。
 - P Rintmode : 印刷モードを指定する。省略値はLP。
 - Port : ポートレートモード。A4で縦63行、横78桁。
 - L And : ランドスケープモード。A4で縦43行、横112桁。
 - L P : ラインプリンタモード。縦60行、横138桁。
- 印刷モードがLPの場合、用紙サイズはA4指定とみなされる。
 用紙がA4以外の場合、印刷モードとして必ずPORTかLANDを指定する。
- L i n e : 出力したい行の範囲を指定する。
 - C O P i e s : 複写部数を指定する。

使用例 : PRTFILE F(EXAM.DATA) T(OPR1)

2) 編集集中テキストの出力

機 能 : PFDで編集集中のテキストをOPRに出力するサブコマンド。

コマンド名	オペランド
OPR	Terminal (プリンタ名) [S Heetsize (A4 A5 B4 B5)] [P Rintmode (Port L And LP)]

使用例 : PFDのEDIT画面で
OPR T(OPR1)

3) バッチジョブの結果出力

機 能 : バッチジョブの結果をOPRに出力する。

コマンド名	オペランド
PRTJOB	ジョブ名 [Jobcode (J n n n n)] Terminal (プリンタ名)

オペランドの説明

- ジョブ名 : 出力したいバッチジョブのジョブ名を指定する。
- J obcode : 同一ジョブ名が複数ある場合、ジョブ番号を指定する。

使用例 : PRTJOB E79999A1 T(OPR1)

4) 出力要求の操作

機 能 : 要求した出力の状態表示、及び、出力依頼の取消しを行う。

コマンド名	オペランド
PRTOPER	{ Status Terminal (プリンタ名) Delete COde (要求番号) C Ancel Terminal (プリンタ名)}

オペランドの説明

- S status : PRTFILE/PRTJOBコマンドで出力を要求したOPRについて、出力状態を表示する。プリンタ名は必須。
- Delete : PRTFILE/PRTJOBコマンドで印刷指示した出力要求を取り消す。要求番号(使用例1参照)は必須。
取消しが受けられるのは出力待ち状態で、セッションと同一登録番号の要求のみである。
- C Ancel : すでに印刷中の出力要求をキャンセルする。これはDELETE指定と異なって装置キャンセルとなるので必ず自分の出力であることを確認しておく。

使用例1: PRTOPER S T(OPR1)

上記コマンドの実行により、指定したOPRの出力要求情報が下記のように表示される。

CODE	NAME	USER ID	WRITER	POS	STATIS
000216	A70099A#	A70099A	OPR1	1	PRINTING
000474	A70099A1(J1234)	A70099A	OPR1	2	
000480	E79999K#	E79999K	OPR1	3	
<u>000481</u>	<u>A70091A#</u>	<u>A70091A</u>	<u>OPR1</u>	<u>4</u>	<u> </u>
↑	↑ ↑	↑	↑	↑	↑
要求番号	ジョブ名(ジョブ番号)	登録番号	プリンタ名	要求順番	出力状態

使用例2: PRTOPER D CO(481)

使用例3: PRTOPER CA T(OPR1)

上記コマンドの実行により、要求番号216の印刷を中断し、出力要求はキャンセルされる。

5) OPRの再起動

機能: OPRが何らかの原因により作動しなくなった時、指定したOPRをホストから切り放し、再接続を行う。

コマンド名	オペランド
PRTCHK	Terminal (プリンタ名)

使用例： PRTCHK T(OPR1)

6) OPRのコマンド一覧

機能： OPR関連のコマンドとそのオペラントの一覧を表示する。

コマンド名	オペラント
PRTHELP	

使用例： PRTHelp

上記コマンドの実行により、下記のように表示される。

1. データセットの内容出力

```
PRTFILE {F(DS名) | D(DD名)} T(ﾌﾞﾘｯｸ名)
SH(A4 | A5 | B4 | B5)
PR(LAND | PORT | LP) LINE(n:m) COPIES(n)
```

2. 編集テキストの内容出力 (PFDのサブコマンド)

```
OPR T(ﾌﾞﾘｯｸ名) SH(A4 | A5 | B4 | B5)
PR(PORT | LAND | LP)
```

3. バッチジョブの結果出力

```
PRTJOB ジョﾌﾞ名 [J(Jnnnn)] T(ﾌﾞﾘｯｸ名)
```

4. 出力要求の状態表示

```
PRTOPER STATUS T(ﾌﾞﾘｯｸ名)
```

5. 出力要求の取消し

```
PRTOPER DELETE CO(要求番号)
```

6. 出力中のキャンセル

```
PRTOPER CANCEL T(ﾌﾞﾘｯｸ名)
```

7. OPRの再起動

```
PRTCHK T(ﾌﾞﾘｯｸ名)
```

(システム管理掛 内線2518)

(センターニュースNo.438, 平成3年4月22日発行)

学内交換回線の 17 番の運用方式変更及び 89 番の廃止について

4月22日(月)から、学内交換回線の内線番号17番(1200/2400bps, MSP接続), および89番(1200/2400bps, UTS接続)を廃止し, 新たに17番をMSP, UTSいずれにも接続できるPACX経由の学内交換回線として運用します。

この番号で接続できるのは, MSP, UTSどちらもモデムの規格がV. 22(1200bps), V. 22bis(2400bps)でMNP機能(通信中のエラーの検出/再送, データ圧縮)はありません。接続方法は次のとおりです。

・MSPへの接続方法

内線電話から17番にダイヤリング

```
CONNECT                ←センターに接続できると CONNECT と表示される
                        ←リターンキー(復帰改行, CRキ-等)のみ押す
enter class M          ←enter class の問い合わせに対し M と入力する
class M start

                        ←ブレイクキー(例えばSTOPキ-)を押し,
                        続けてリターンキーを押す
JECT005 SYSTEM READY  ←MSPへのログオンが可能となる
```

・UTSへの接続方法

内線電話から17番にダイヤリング

```
CONNECT                ←センターに接続できると CONNECT と表示される
-                      ←ハイフンキーのみ押す
enter class U          ←enter class の問い合わせに対し U と入力する
class U start

kyu-cc

Welcome to FUJITSU UTS

login:                 ←UTSへのログインが可能となる
```

(ネットワーク掛 内線2542)

(センターニュースNo.438, 平成3年4月22日発行)

MHS方式による電子メールサービスの開始について

平成3年4月3日(水)より国際規格(CCITT勧告X.400)に基づくMHS方式での電子メールのサービスを開始しましたのでお知らせします。

これによる電子メールは全国7大型計算機センターと学術情報センターが共同で今年度からサービスを行います。他センターの開始時期や利用方法については各々のセンターに問い合わせ下さい。当センターは前述のとおりサービスを始めていますが、環境整備や、利用の手引作成等

にもうしばらく時間を要しますので、利用方法等については当面ネットワーク掛にお問い合わせ下さい。

(ネットワーク掛 内線2542)

(センターニュースNo.438, 平成3年4月22日発行)

PACX経路による300bpsでのサービス廃止について

専用回線及びアナログ電話交換回線からPACXを経由して、MSP及びUTSを利用する形態において、300bpsでのサービスを6月1日(土)をもって廃止しますので予めお知らせします。

これにより300bpsで接続できるのは、MSP、UTS共第2種バケット交換回線及びINSネットのバケット通信によるものだけとなりますのでご注意ください。

(ネットワーク掛 内線2542)

(センターニュースNo.438, 平成3年4月22日発行)

GAUSSIAN 88の公開について

分子軌道計算システム「GAUSSIAN 88」を公開します。利用形式は、バッチ処理のみとなります。ジョブクラスは必ず「F」を指定して下さい。また、execの制限値(20万回)を越すような巨大ジョブについては要審査ジョブ(ジョブクラス「D」)の申請を行って下さい。

入力形式

カタログドプロシジャ
GAUSSIAN

使用例

```
//A79999AA JOB CLASS=F,MSGCLASS=S
// EXEC GAUSSIAN
//SYSIN DD *
# HF/STO-3G
```

(-)-EPICATECHIN DXCXCI=180

0	1					
X						
C	1	1.387				
C	1	1.388	2	60.0		
C	1	1.386	3	60.0	2	180.0
C	1	1.386	4	60.0	3	180.0
C	1	1.406	5	60.0	4	180.0
C	1	1.397	6	60.0	5	180.0
X	2	1.0	1	90.0	7	90.0
X	3	1.0	1	90.0	2	90.0
X	4	1.0	1	90.0	3	90.0
X	5	1.0	1	90.0	4	90.0
			.			
			.			
			.			

なお、'LIB.GAUSS88.TEST' にテスト用データセットがありますので利用して下さい。

参考文献

- 1) User's Guide and Programmer's Reference, Australian National University Facility.
- 2) Gaussian88 User's Guide and Programmer's Reference (Revision C Version), Multiflow Computer Inc.

(ライブラリ室 内線2508)

(センターニュースNo.440, 平成3年5月20日発行)

センター保管磁気テープの新規受付の停止について

センターではこれまで遠隔地の磁気テープ利用者を対象に、磁気テープの保管サービスを実施してきましたが、磁気テープの劣化による障害や適切な保管場所が確保できない等の問題があり、センター保管磁気テープの新規受付を停止しますのでご了承下さい。

(システム運用掛 内線2517)

(センターニュースNo.440, 平成3年5月20日発行)

カード読取装置等機器の撤去計画について

本センターのカード読取装置、カード穿孔機、8インチフロッピーディスク装置、APL端末及び磁気テープ装置（800 bpi）は、その後出現した高集積化及び操作性の向上を図った新しいメディアの影響を受け、利用者が年々少なくなっています。

本センターでは平成4年1月に汎用大型コンピュータシステムの更新を計画していますが、周辺機器の整備について検討した結果、平成3年12月に上記の機器を撤去する予定で作業を進めています。

については、上記の装置を使用する80欄カード、8インチフロッピーディスクあるいは磁気テープ（800 bpi）をお持ちの方は、早めに磁気ディスクの保存データセット、磁気テープ（1600 bpi以上）あるいはマストレージにコピーしてください。

（システム運用掛 内線2517）

（センターニュースNo.441，平成3年6月5日発行）

平成3年度（後期）ライブラリプログラム開発計画募集について

ライブラリプログラム開発計画募集要領（後述）に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎します。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 応募資格 | 本センター利用有資格者 |
| 2. 応募締切 | 平成3年 8月30日（金） |
| 3. 応募手続 | 所定の申請書に必要事項を記入の上、ライブラリ室（内線2508）まで提出する。
（申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してあります。） |
| 4. 対象課題 | a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。 |

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、センターニュース(No.444)に示す募集要領を参照してください。

第9回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会講演募集について

本センターでは、例年どおり、標記研究集会を下記のように開催します。この研究集会の目的は、センター利用者にとって有益な研究成果あるいは計算機科学への問題提起を含んだ研究の発表と討論の場を提供し、センター利用者と計算機科学の研究者との交流の接点をつくることにより、計算機利用技術の向上を図ろうとするものです。センター利用者の方々の積極的な研究発表をお願い致します。

- 日 時 平成3年11月22日(金)10:00~17:00
- 場 所 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)
- 応募方法 講演内容をA4版用紙1枚にまとめ、9月20日(金)までに提出してください。このとき、発表者の氏名、所属、電話番号を別紙に記したものを添えてください。
- 審 査 応募論文は、編集委員会において、本研究集会の趣旨に基づいて審査します。審査結果は、10月4日(金)までに連絡いたします。
- 講演方法 会場にはOHPを準備します。(希望によりスライドも可)。なお、当日は資料をご用意ください。
- 講演時間 質疑応答を含め30分を予定していますが、講演件数によって多少調整することがあります。
- 論文提出 発表いただいた研究は、九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告として、平成4年3月に発行する予定です。このための原稿(カメラ・レディ・フォーム10頁程度)を平成4年1月31日(金)までに提出していただきます。要領は発表決定後にお知らせします。
- 申込み先 〒812 福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学大型計算機センター 古川 哲也
電話 092-641-1101(内線2510)
E-mail furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp